

地域医療が抱える課題と 総合医が果たす役割

広島大学病院 総合内科・総合診療科

伊藤 公訓



令和3年度第1回 広島県地域保健対策協議会
保健医療基本問題検討委員会

2021年7月5日



総合医の使命

日常遭遇する疾病と傷害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど、保健・医療・介護・福祉活動に取り組み、絶えざる自己研鑽を重ねながら、**地域で生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する使命を担う。**

(総合診療専門研修プログラム整備基準)

総合病院で勤務する「病院総合診療医」

実地で診療活動を行う「家庭医」

総合医はどこを診るか？



総合診療科はここが担当です！



多くの社会医学

- ・公衆衛生学
など



多くの臨床医学

- ・内科学
- ・外科学
- ・産婦人科学
など



多くの基礎医学

- ・生化学
- ・病理学
など

県内自治体の人口10万対医師数



なぜ地域医療が拡充しないか？

- 医師は少しずつ増えています。
- 広島大学ふるさと卒出身者も増えています。
- 患者さん(中山間の医療人口)は少しずつ減っています。

なぜ地域医療が拡充しないか？

- 主な原因は**医師の偏在(診療科の偏在、地域の偏在)**を放置していること。

医療の細分化と、専門医・総合医の不均衡

専門医制度の弊害

(若手は都市部の大病院に集中。都市部勤務医には高齢化問題)

ふるさと卒制度

なぜ地域医療が拡充しないか？

- 医師は少しずつ増えています。
- 広島大学ふるさと卒出身者も増えています。
- 患者さん(中山間の医療人口)は少しずつ減っています。

なぜ地域医療が拡充しないか？

- 主な原因は**医師の偏在(診療科の偏在、地域の偏在)**を放置していること。

医療の細分化と、専門医・総合医の不均衡

専門医制度の弊害

(若手は都市部の大病院に集中。都市部勤務医には高齢化問題)

ふるさと卒制度

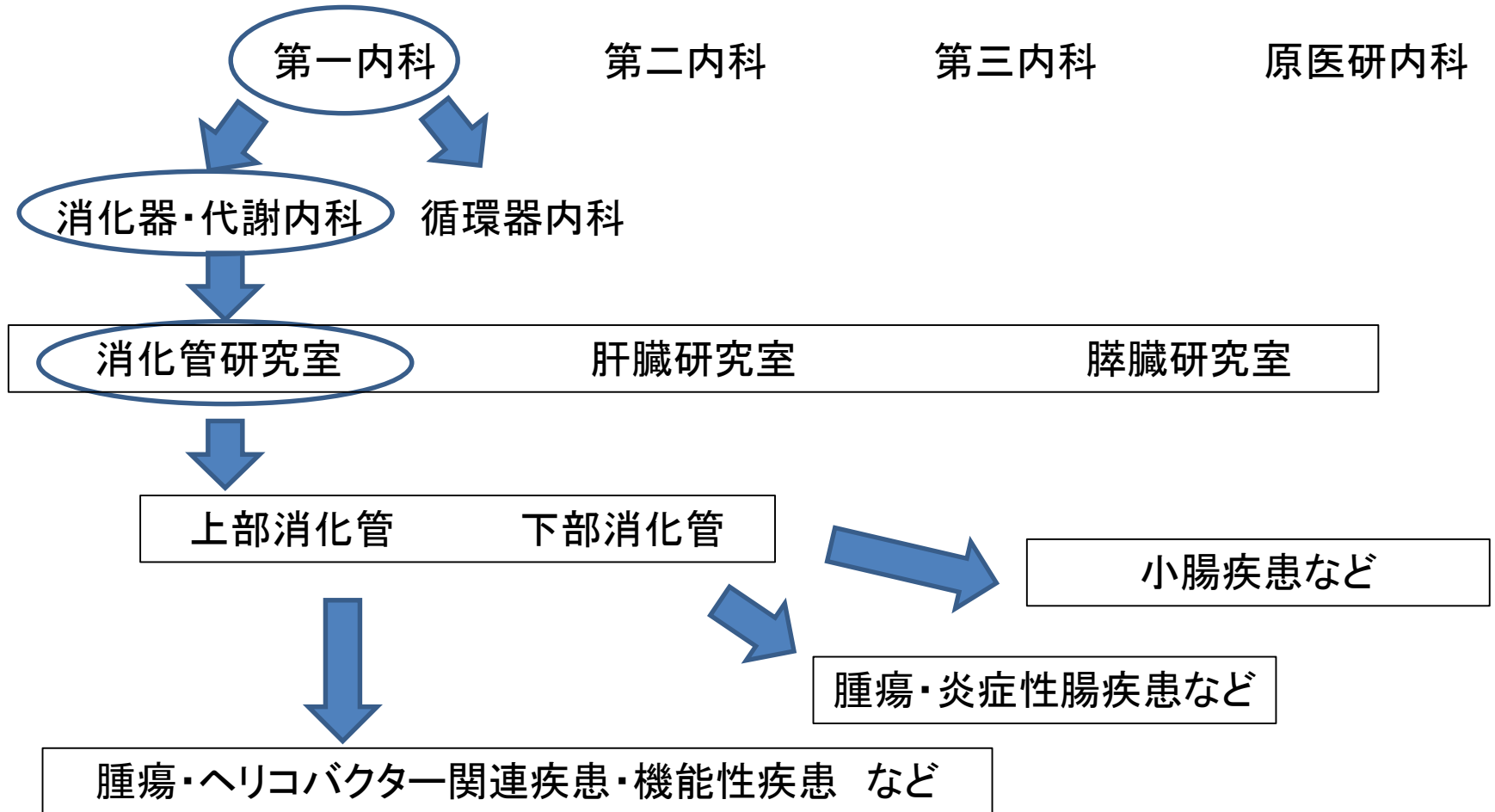


搭乗した機内でドクターコールがアナウンスされたら援助を申し出ますか？との設問に対して、「申し出る」と答えたのは41.8%

申し出ないと思う理由が多かった回答は、
「ドクターコールの時点では急病人の病状が自分の専門領域か否かが不明確」
74.6%

大塚 祐司
宇宙航空環境医学 41(2), 57-78, 2004-06-01

広島大学の内科学講座



いくら医師数が増えても、専門分野が細分化し、
それぞれについての専門医が必要となれば、相対的に医師不足が起こります。

「医師不足」「医師が都会に集中」という議論は 総合診療専門医の話と非常に関係があります。

専門医は、自分の専門領域については、非常に深い知識と経験を持っています。しかし、患者さんは「私は肺の病気です」と訴えて受診するのではなく、「胸が痛い」「咳が出る」と訴えてきます。

胸が痛いからといって、心臓の病気とは限らず、それを見極められる医師がまず診ることが、疾患の見落としなどを防ぐために極めて重要です。

欧米では、幅広くさまざまな疾患を臨床の一線で診ることができる医師と、その後方に専門医がいます。

両者がうまく役割分担をしている地域では、医療の質、医療のアウトカムが高いというエビデンスが出ています。医療費も削減できることが分かっています。



総合診療専門医、質とコストの両面で有用 - 尾身茂・JCHO理事長に聞く
医療維新 2016年8月30日

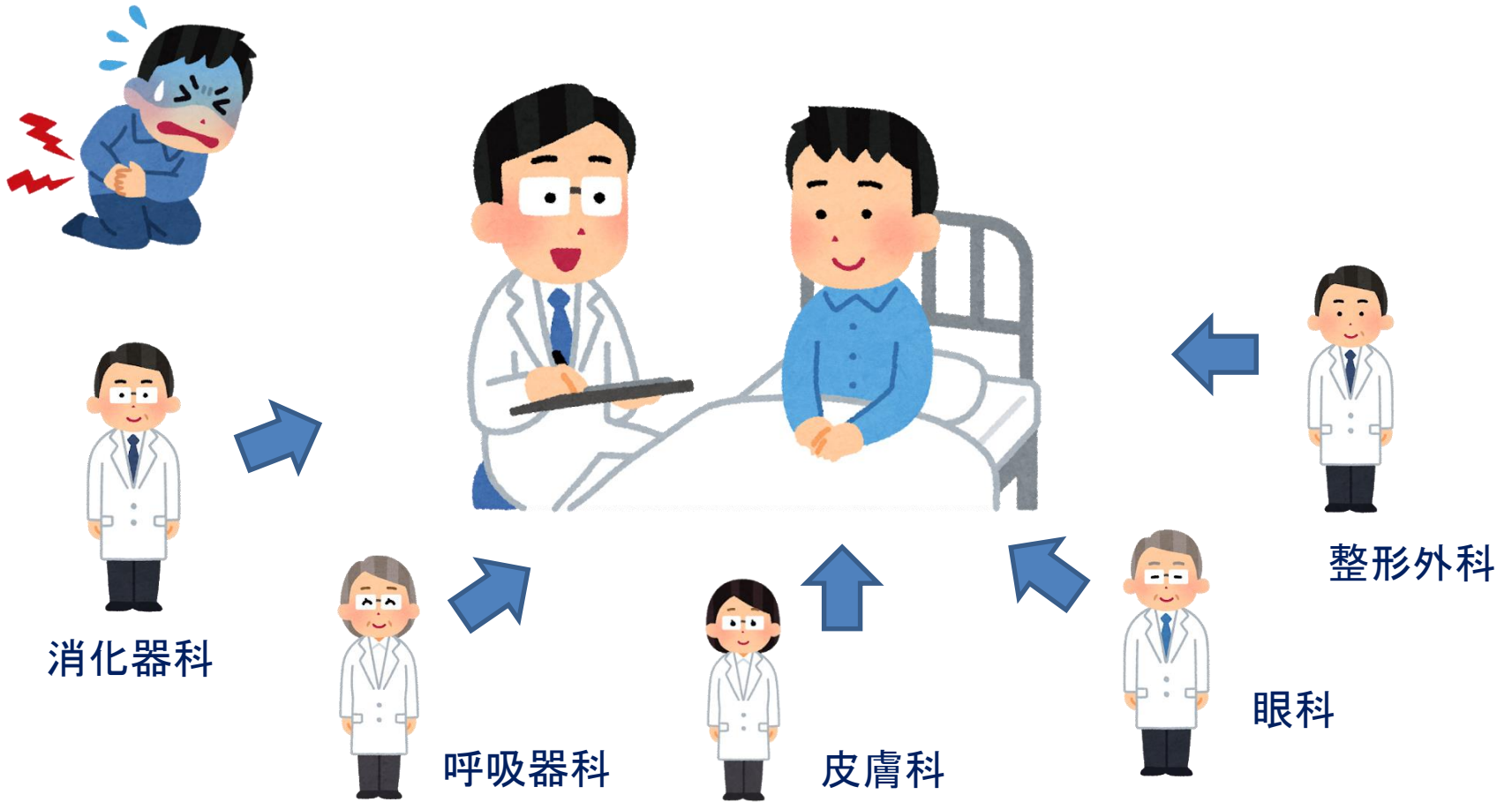
米国のホスピタリストモデル

ホスピタリスト医療 (hospitalist medicine) は1996年に誕生して以来、米国内で急速な広がりを示し、現在およそ **20,000 名のホスピタリスト** が従事している。

ホスピタリストとは少なくとも 75% の労働時間を入院患者を対象にした総合診療に充てる医師で、外来のプライマリケア医から患者を引き継いで診療を行い、入院治療が終了・退院後は、プライマリケア医に患者を戻す役割を担い、病院における医療のリーダーとして広く認知されている。

(デシュパンデ・ゴータムほか 日内会誌 103: 155~159, 2014)

入院主治医＝ホスピタリスト（病院総合医）



広島大学ふるさと枠広島県コース

在籍者累計 194名(うち卒業生86名)

	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 1年	令和 2年
入学 者	5名	15名	15名	15名	18名	18名	18名	18名	18名	18名	18名	18名
岡山 県枠	—	2名 (1)	1名 (1)	2名 (1)	2名 (0)	2名 (1)	2名 (2)					
岡山大学 広島県枠		1名 (0)		1名 (0)		2名 (1)	2名 (0)					

() 内は女子学生数



広島大学 松本正俊教授より供与

1 広島大学ふるさと枠医師(68名)

令和3年3月5日現在
令和3年4月1日時点

診療科名等	中山間地域指定医療機関											中山間地域以外の医療機関	計		
	中堅病院				中小病院									小計	
	公立みづぎ総合病院	市立三次中央病院	庄原赤十字病院	J A 吉田総合病院	公立下蒲刈病院	府中市民病院	府中北市民病院	府中市湯が丘病院	西城市民病院	安芸太田病院	公立世羅中央病院				神石高原町立病院
総合内科・総合診療科	1												1		1
消化器・代謝内科		3	3										6	4	10
呼吸器内科		1		1									2		2
腎臓内科		1	1										2		2
脳神経内科														4	4
循環器内科		2	2						1	1			6	2	8
血液・腫瘍内科		1											1		1

広島大学ふるさと枠医師 68名

中山間地域指定医療機関 28名

中小病院 5名

中堅病院 23名(三次中央・庄原赤十字:18名)

小計	3	10	6	2					1	1	3		26	32	58
産科婦人科(知事指定)		2											2	6	8
病理診断科(知事指定)														2	2
計	3	12	6	2					1	1	3		28	40	68
(参考) 現配置人数	3	10	5	2						2			22	28	50

広島県での成功例

広島市立安佐市民病院



高度急性期病院
病床数527床・全31科



安佐地区(安佐市民病院)の成功要因

- 豊富なマンパワー(総合医)
- 病院(病院長)の後押し
- 職員・スタッフの熱意
- 行政の支援
- 人事(医局)制度の壁・



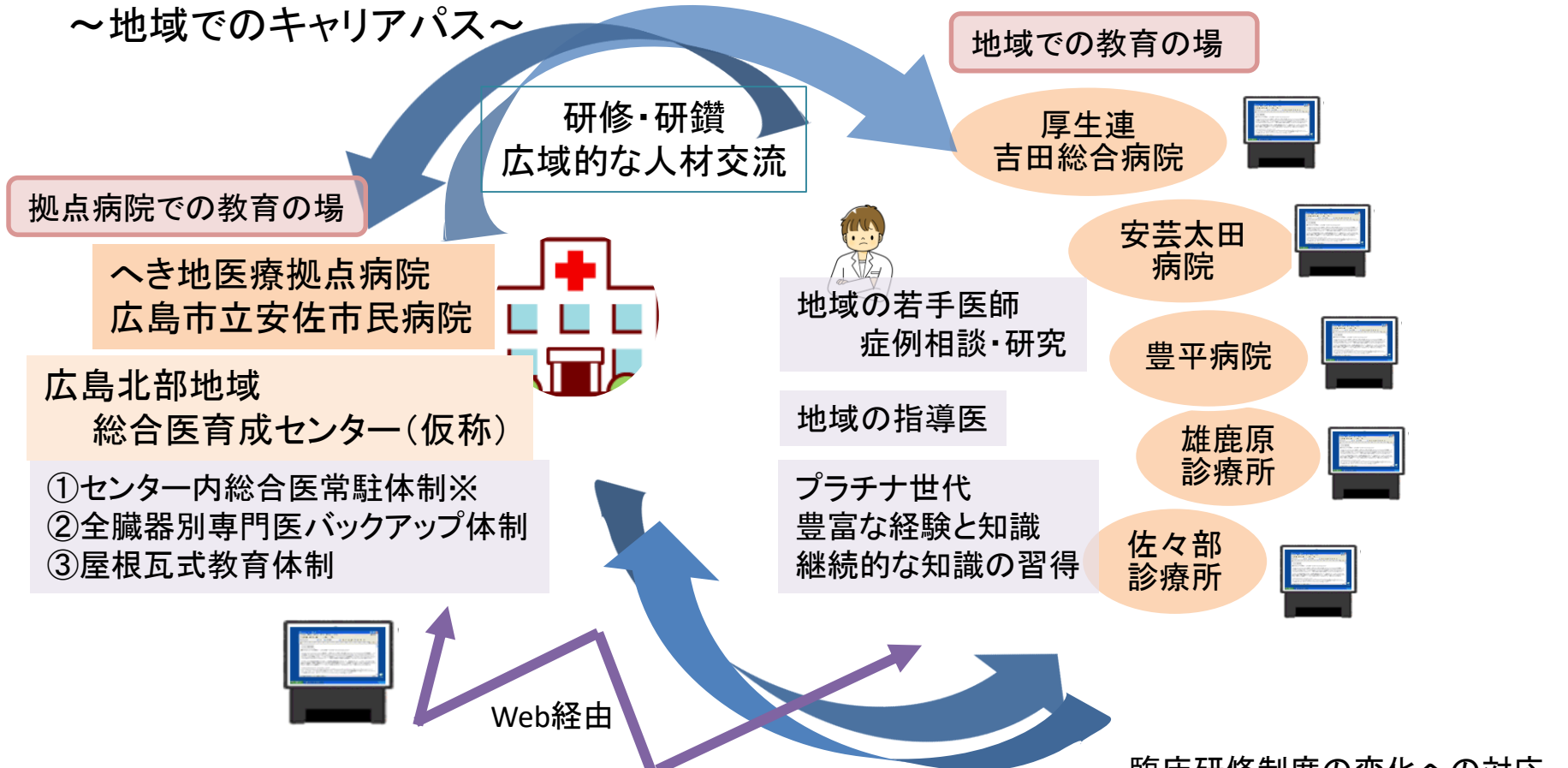
安佐市民病院ホームページより引用

包括的過疎地域医師育成・活躍支援システム整備事業

質の高い総合医を育成する仕組みづくり

中山間地域でお互いの臨床疑問を広域でリアルタイムにディスカッションし学ぶ体制

～地域でのキャリアパス～

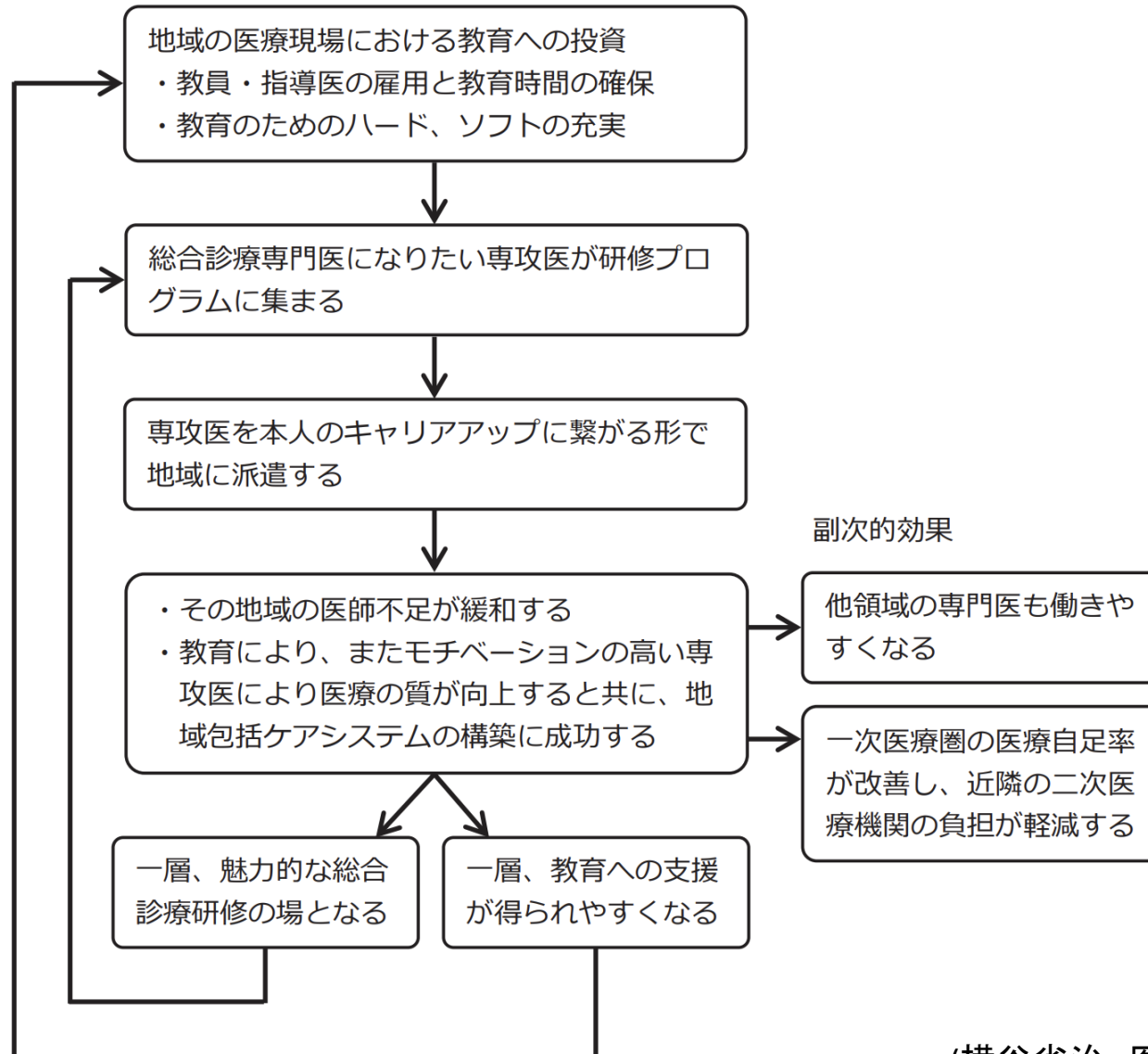


地域の医療の質の維持および向上

地域住民へ安心・安全・最適な
医療提供体制を構築。

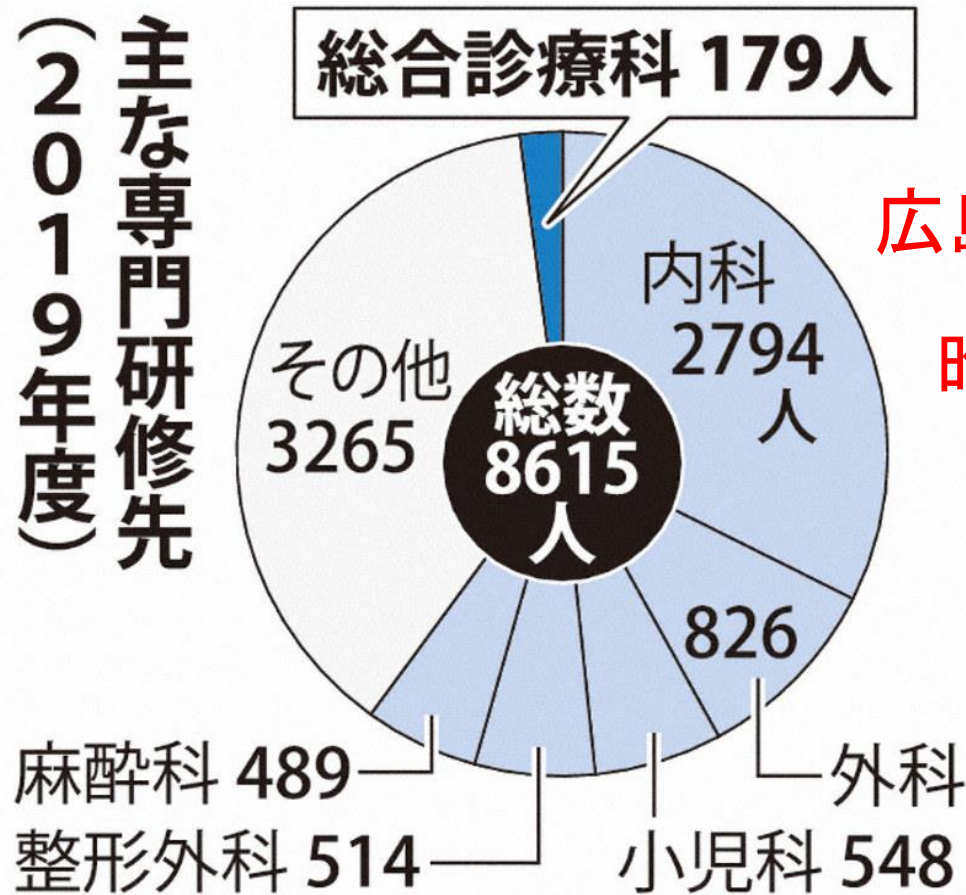
※ 広島市立安佐市民病院内のERに救急総合診療体制をしき、センターを設置。
屋根瓦式指導。総合内科医1名、後期・初期研修医3名以上が常駐(平成26年度整備)。

教育を軸とした大学-地域医療の好循環



新専門医制度における登録者

(2019年度)
主な専門研修先



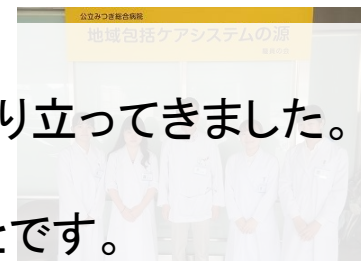
広島県はわずか1名

昨年度はわずか2名

広島県総合医育成ネットワークの構築



地域医療は、それぞれの地域で独自の工夫の上に成り立ってきました。
必要なのは、それらをできるだけ「システム化」することです。



その中心にいるべき最適な人材は「総合医」だと思います。

「総合医」を育てる取り組みを、ぜひ推進してください。



地域の指導医へのサポート制度を作ってください。



総合医育成の中心的教育施設を作ってください。



行政・医師会・大学の緊密な連携が不可欠です。

7月17日(土曜日)開催 「広島県総合診療専門医セミナー2021」参加申込受付中

 [印刷用ページを表示する](#) 掲載日: 2021年6月25日

「広島県総合診療専門医セミナー2021」をオンライン形式で開催します。(Zoomを利用)

日時: 令和3年7月17日土曜日 13時～

少子高齢化が進展する社会においては、複数疾患をもつ高齢者等の総合的な診療を担う総合診療医の役割が重要となってきます。

このセミナーは、主に全国の医学生や研修医を対象に、ロールモデルとなる県内の総合診療医の講演や県内の総合診療科専門研修プログラムを紹介します。

このセミナーに参加していただくことで、広島県で総合診療医として働くイメージを持つことができ、今後の進路選択において参考となること間違いなしです。

【参加申込はこちらから↓】

[7月17日\(土曜日\)開催 広島県総合診療医セミナー2021 参加申込](#)

[① 広島県総合診療医セミナー2021プログラム \(Wordファイル\)\(17KB\)](#)

広島県総合診療専門医セミナー2021

日時: 令和3年7月17日(土) 13:00~14:30

開催方法: 現地とWebによるハイブリッド開催

場所: たんぽぽ保育園2F 会議室 (広島大学病院内)

Zoomアドレス:

<https://us02web.zoom.us/j/89166322927?pwd=RDN2Z3NKVWgyVnAyVkdzRVNjQmNkdz09>

ミーティングID: 891 6632 2927 パスコード: 291923

【内容】

1. 挨拶
2. 【講演】総合診療医のロールモデル
 - ・東條環樹先生 (雄鹿原診療所 所長)
 - ・松田聡介先生 (青崎いぶきクリニック 院長)
 - ・原田和歌子先生 (安佐市民病院 総合診療科 主任部長)
 - ・宮森大輔先生 (広島大学病院 総合内科・総合診療科 診療講師)
3. 各研修プログラムの紹介 (研修内容および研修後のキャリア形成について)
 - (1) 各医療機関からの紹介
 - ・広島大学病院
 - ・安佐市民病院
 - (2) 総合診療プログラムを修了した専攻医から
 - ・池田晃太郎先生 (広島大学大学院 総合内科・総合診療科)
 - ・重信友也先生 (安佐市民病院 総合診療科)
4. 質疑応答
5. 閉会 ※閉会後希望者のみ個別相談会を行います。

【参加登録フォーム】

https://s-kantan.jp/pref-hiroshima-u/profile/userLogin_initDisplay.action?nextURL=CqTLFdO4vob%2FTpHQDRFVKtQ9f2VYJzSn7Hr%2FNHcouPzy7zq348onrxZIT6FVjVa1Qj1uo8ABnGY0%0D%0A5xkLOJmSwsBwI5%2BV5rzle1dD2WrZyfQGTexfgCo8HRhriblQVUYEFqp9Mly29Q%3Du%2F2pnQTLAb0%3D%0D%0A



参加登録はこちら→

←当日Zoomでの参加入り口



主催: 広島県 (地域医療支援センター)